

～登壇者ご紹介～

大森 孝生

一般財団法人運輸総合研究所 特任研究員



<略歴>

2022年末まで総合商社に勤務、国内外での物流関連事業に従事
海外10数拠点での港湾・コンテナターミナル、大規模物流センターの事業開発・経営
多様な商品群・業界を対象とした物流コスト・在庫削減、ネットワークモデリング等の
物流ソリューション提供、物流ロボット活用・自動化プロジェクト実績
株式会社アイオイ・システム 取締役として、物流ソリューション・海外事業に携わる

最近の主な研究課題

—コンテナターミナルにおける海と陸の情報連携—東南アジアでのデジタル活用事例を踏まえ—

尼ジャカルタ港で運営に携わったターミナルでは、4年弱にわたり「降ろし取り」を推進し、データ解析を行った。
その経験も踏まえ、海外と異なる本邦コンテナターミナルの収入構造、陸側の情報を如何に活用しづらい環境に置かれているのかとの課題認識を踏まえ、情報基盤の活用施策案について調査・研究（2024）。

—物流データと輸送器具との情報連携

パレット、カゴ車など標準輸送器具につけられたQRコード、RFID及びSmartTagの機能・活用事例、物流データとの連携
施策について調査・研究（2024-2026）。